

## 10月20日（火） 1年生「SOSの出し方授業」

ストップイットジャパン株式会社の谷山大三郎様による、「SOSの出し方授業」が行われました。いじめを傍観していた立場の女子を主人公とする動画教材を視聴しながら、「私だったらどういう行動をとるか」という質問について、一人一人真剣に考え、距離を取りながらですが班での交流も行いました。谷山様より「どちらの選択肢も正解です。」と声をかけられ、自信をもって自分の考えを友達に伝えることができていました。

今回の授業では、いじめの問題を早期に解決するために自分に何ができるかを考えること、一人一人がいじめを止める行動をとれるかどうかにはクラスの雰囲気関わっていることについて学ぶことができました。また、自分一人で抱え込まず、周囲の友達や大人に「報告（ホウ）・連絡（レン）・相談（ソウ）」をすることが、自分のできることの選択肢を増やすことにもつながります。

最後に、「STOP IT」をお守りがわりにダウンロードしておく、あなたがいじめの未然防止や早期発見につながる行動をとり、誰かを守ることに繋がるかもしれません。

以下は生徒の感想です。

- よくない何かがあったら、自分ができる最善の選択肢を選ぶように、先生や親、信頼できる友達にホウレンソウしようと思った。
- ドラマを見て、いじめは絶対にあってはならないと思いました。また、「STOP IT」という他の解決方法があったので驚きました。帰ったら、親に言ってみたいと思います。
- いじめは、加害者、被害者だけでなく、傍観者の行動も大切なんだと感じました。映像のような光景に出会ったら、何か1つでも声をかけようと思います。いじめが生まれるようなクラス・学年にならないようにしたいです。

この「STOP IT」アプリは、現2・3年生も昨年同じ授業を受けているので知っていると思います。6月に、再登録用のプリントを配布していますが、今週もう一度プリントを配布しますので利用してください。

